

事業名	狩猟管理指導費			調査番号	60
細事業名	狩猟管理指導事業費	財務コード	009002		
担当部課室	森林環境 部	みどり自然 課	自然保護 担当 (内線)	6510	

I 事業の概要

実施期間	始期	S38 年度	～	終期	年度
実施主体	県(直営)				
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして			結果、何に結びつけるのか
	狩猟免許取得者及び申請者	狩猟免許試験の開催や狩猟免許更新講習及び狩猟者登録の実施を通じた正しい狩猟知識の習得			安全な狩猟、野生鳥獣の保護管理体制の構築
内容	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律により狩猟免許試験の実施及び狩猟免許の更新、狩猟者登録等を行う。 (1) 狩猟免許試験 年4回(申請者246人) (2) 狩猟免許更新 年19回(更新者1,853人) (3) 狩猟者登録 10/1～3/15の間(登録者3,423人) ※30年度実績				

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度	
活動指標	狩猟免許試験の実施回数	目標	3	4	4	4	4	4	
		実績(見込)	3	4	4	4	4		
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
		達成区分	b	b	b	b	b		
成果指標	狩猟者登録者数	目標	3,006	2,972	2,985	3,235	3,384	3,473	3,525
		実績(見込)	3,168	3,306	3,361	3,440	3,423	3,473	
		達成率	105.4	111.2	112.6	106.3	101.2	100.0	
		達成区分	b	b	b	b	b		
決算(予算) 単位: 千円		3,249	4,685	3,435	3,896	6,951	4,799	5,044	

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	狩猟免許試験の実施日数の増加や狩猟免許更新講習の改善等により目標を上回る狩猟者登録者が確保できている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	本事業に関連する新規狩猟者及び現狩猟者の確保・育成に向けた事業(鳥獣保護管理人材確保・育成事業)を実施することにより、成果の向上が可能。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明	狩猟免許試験の実施日数の増加や狩猟免許更新講習の改善等を実施済。		
見直しの必要性	無	見直す余地がないため。		

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。